

平成21年度4月からの農学研究科の概要

平成21年度4月から岩手大学大学院農学研究科は、従来の2専攻から農学生命専攻、応用生物化学専攻、共生環境専攻、動物科学専攻、東北地方の特色である寒冷環境における生命分野の研究と教育のフロンティアを担うためのバイオフィロンティア専攻の5専攻へと改組されました。

新しい研究科では、各専攻において、広い視野と高い問題意識を持ち、専門的知識と能力を備えた高度な専門職業人の養成を目的としています。アドミッションポリシーは、以下のようになります。

[アドミッションポリシー]

岩手大学大学院農学研究科は、農学生命専攻、応用生物化学専攻、共生環境専攻、動物科学専攻、バイオフィロンティア専攻において、広い視野と高い問題意識を持ち、専門的知識と能力を備えた高度な専門職業人の養成を目的としています。特に、生命、食料、環境の分野で世界レベルで活躍できる研究者の育成と地域の農林業の振興発展に先見性を発揮し貢献できる高度専門職業人の育成を目指しており、次のような大学院生（修士課程）を求めています。

1. 寒冷環境における生命科学分野の研究や生物資源の機能開発および人間の健康に役立つ食品の利用開発に取り組み、それらの研究成果を地域から世界に発信しようとする人。
2. わが国の食料自給率の向上と環境保全型農林業の発展に使命感を持ち、農学を駆使して幸福感溢れる地域の農林業振興をライフワークにできる人。
3. 人と環境との共生、環境と経済とのバランスを探求し、国内外を問わず豊かな地域社会の構築に情熱を注ぎ込むことができる人。

新たな5専攻の詳細は、本ホームページの専攻紹介のページをご覧ください。

また従来の2専攻と新たな5専攻との対照は下図のようになります。

